

資料 5

令和 7 年度神奈川県介護予防事業市町村支援委員会専門部会

審議事項

専門職員等派遣事業の施策の方向性について

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 高齢福祉課
令和 7 年12月 5 日

- 1 専門職員等派遣事業の実績
- 2 専門職員派遣事業の目指す姿と現状
- 3 事業の方向性（案）
- 4 ご意見いただきたいこと

1 専門職員等派遣事業の実績

●専門職派遣件数(n=149)・参加人数(集計期間:R4～R6)

高齢福祉圏域	市町村	派遣件数				参加人数				1件当たり 平均参加人数	
		派遣 件数	構成比	圏域計	圏域 構成比	参加 人数	構成比	圏域計	圏域 構成比	平均 参加人数	圏域平均 参加人数
横浜	横浜市	7	4.7%	7	4.7%	190	4.9%	190	4.9%	27	27
川崎	川崎市	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
相模原	相模原市	11	7.4%	11	7.4%	196	5.0%	196	5.0%	18	18
横須賀 ・三浦	横須賀市	5	3.4%	26	17.4%	198	5.1%	500	12.9%	40	19
	鎌倉市	3	2.0%			21	0.5%			7	
	逗子市	16	10.7%			240	6.2%			15	
	三浦市	2	1.3%			41	1.1%			21	
	葉山町	0	0.0%			0	0.0%				
県央	厚木市	7	4.7%	36	24.2%	124	3.2%	597	15.4%	18	17
	大和市	6	4.0%			146	3.8%			24	
	海老名市	11	7.4%			158	4.1%			14	
	座間市	9	6.0%			127	3.3%			14	
	綾瀬市	3	2.0%			42	1.1%			14	
	愛川町	0	0.0%			0	0.0%				
	清川村	0	0.0%			0	0.0%				

	派遣件数	派遣人数
R 4	54件	69人
R 5	55件	80人
R 6	40件	55人
合計	149件	204人

○横浜市・川崎市が全体的に活用実績が少ない理由として、独自の専門職員等派遣事業を構築しているものと推測している。

○ 派遣実績がない市町村
 3か年実績で計13市町村
 市：川崎市、藤沢市、平塚市
 秦野市、南足柄市
 町：葉山町、愛川町、大磯町
 松田町、山北町、真鶴町
 湯河原町
 村：清川村

1 専門職員等派遣事業の実績

高齢福祉圏域	市町村	派遣件数				参加人数				1件当たり 平均参加人数	
		派遣 件数	構成比	圏域計	圏域 構成比	参加 人数	構成比	圏域計	圏域 構成比	平均 参加人数	圏域平均 参加人数
湘南東部	藤沢市	0	0.0%	14	9.4%	0	0.0%	265	6.8%		19
	茅ヶ崎市	11	7.4%			248	6.4%			23	
	寒川町	3	2.0%			17	0.4%			6	
湘南西部	平塚市	0	0.0%	8	5.4%	0	0.0%	195	5.0%		24
	秦野市	0	0.0%			0	0.0%				
	伊勢原市	6	4.0%			181	4.7%			30	
	大磯町	0	0.0%			0	0.0%				
	二宮町	2	1.3%			14	0.4%			7	
県西	小田原市	30	20.1%	47	31.5%	1,634	42.1%	1,941	50.0%	54	41
	南足柄市	0	0.0%			0	0.0%				
	中井町	6	4.0%			86	2.2%			14	
	大井町	4	2.7%			126	3.2%			32	
	松田町	0	0.0%			0	0.0%				
	山北町	0	0.0%			0	0.0%				
	開成町	6	4.0%			87	2.2%			15	
	箱根町	1	0.7%			8	0.2%			8	
	真鶴町	0	0.0%			0	0.0%				
	湯河原町	0	0.0%			0	0.0%				
		149	100.0%	149	100.0%	3,884	100.0%	3,884	100.0%	26	26

【分析のポイント】

○市町村別の派遣件数を見ると

【10回以上抽出】

小田原市：30件（20.1%）

逗子市：16件（10.7%）

相模原市：11件（7.4%）

海老名市：11件（7.4%）

茅ヶ崎市：11件（7.4%）

と上記5市で**全体の53.0%**を占める。

○なお、小田原市では3年間の全てで月1回の自立支援ケア会議（介護予防プランの事例検討）のため、**理学療法士と管理栄養士**の派遣を活用。

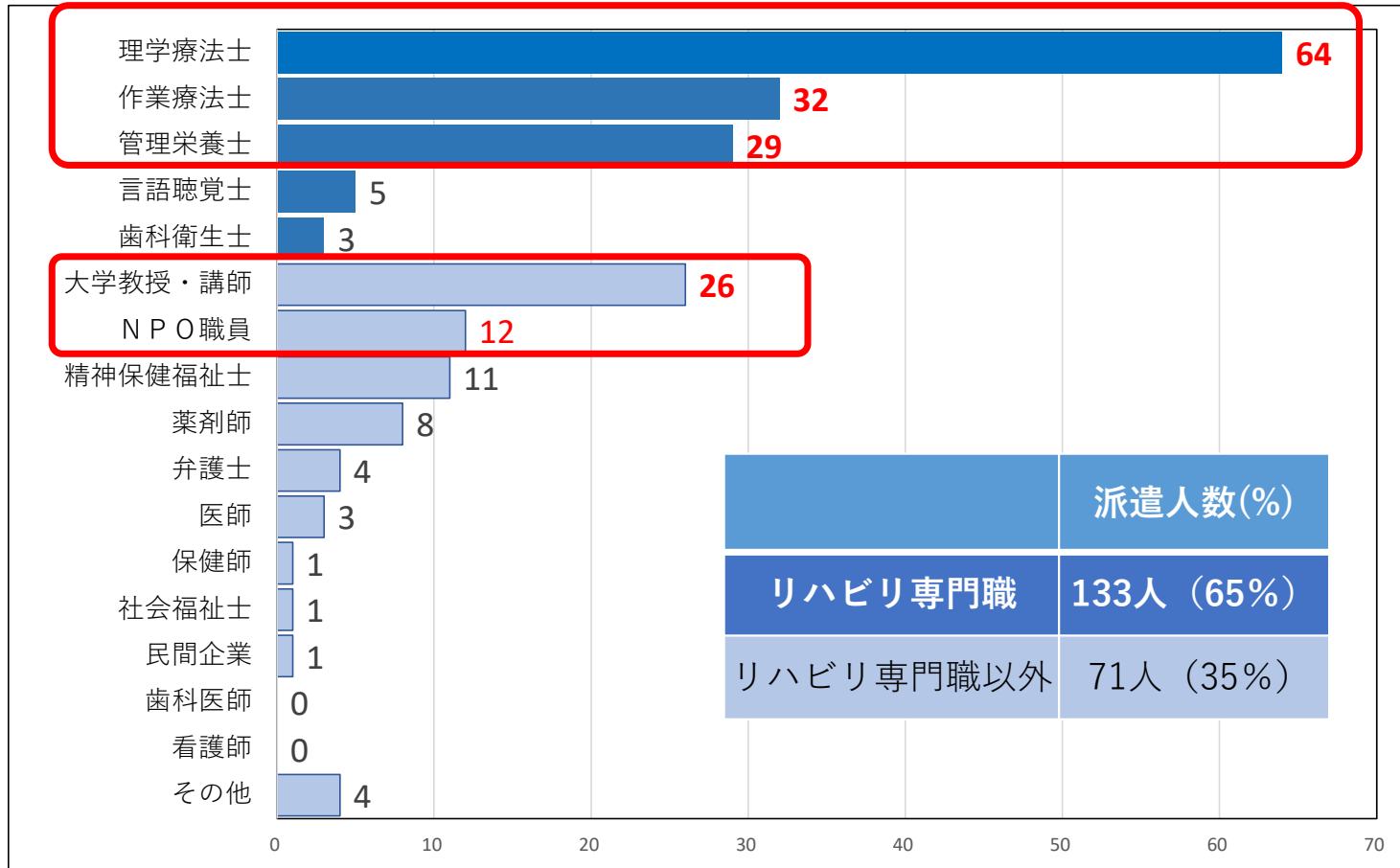
○圏域別に見ると、**湘南西部**で8件（5.4%）で活用実績が少ない。

○川崎市を除くと計12自治体で派遣実績がなく、内、8自治体は、独自で専門職の確保が難しい**小規模町村**が該当。潜在的には専門職の関わりに対するニーズがあると推測。

○派遣1件あたり参加（利用）人数は平均26人。市町村別では**小田原市**で54人、**横須賀市**で40人と多い。

1 専門職員等派遣事業の実績

●職種別派遣人数の内訳(集計期間:R4～R6) (n=204)



※リハビリ専門職：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士

【分析のポイント】

○職種別では、理学療法士が一番多く、次いで作業療法士、管理栄養士、大学教授・講師、NPO職員の順に多かった。

○リハビリ専門職の派遣が65%、リハビリ専門職以外が35%だった。

○NPO職員には、外出支援・移動支援や、インフォーマルサービスに関する講義などの依頼があった。

1 専門職員等派遣事業の実績

●派遣先の事業(件数・割合) n=149

地域ケア個別会議 (自立支援型)	地域ケア個別会議 (支援困難等)	通いの場	研修会	在宅医療・ 介護連携関連	その他の会議等
67件 (45%)	38件 (26%)	23件 (15%)	11件 (7%)	2件 (1%)	8件 (5%)

高齢福祉圏域	市町村	地域ケア個別会議 (自立支援型)	地域ケア個別会議 (支援困難等)	通いの場	研修会	在宅医療・介護連 携関連	その他の会議等	計
横浜	横浜市		4	2	1			7
川崎	川崎市							0
相模原	相模原市	1	9	1				11
横須賀・三浦	横須賀市	2	2	1				5
	鎌倉市			1			2	3
	逗子市		7	8		1		16
	三浦市	2						2
	葉山町							0
県央	厚木市			5	1	1		7
	大和市		2		4			6
	海老名市	8	1		2		2	13
	座間市	8			1			9
	綾瀬市			1				1
	愛川町							0
	清川村							0
湘南東部	藤沢市							0
	茅ヶ崎市		7	4				11
	寒川町	2	1					3
湘南西部	平塚市							0
	秦野市							0
	伊勢原市	2	4					6
	大磯町							0
	二宮町	1			1			2
県西	小田原市	29					1	30
	南足柄市							0
	中井町	2	1				3	6
	大井町	4						4
	松田町							0
	山北町							0
	開成町							0
	箱根町	6			1			7
	真鶴町							0
	湯河原町							0
		67	38	23	11	2	8	149
		45.0%	25.5%	15.4%	7.4%	1.3%	5.4%	100.0%

【分析のポイント】

○派遣先の事業では、地域ケア個別会議(自立支援型) 67件(45%)、地域ケア個別会議(支援困難等)が38件(26%)、通いの場23件(15%)の順で多かった。

○在宅医療・介護連携関連は2件(1%)だった。

○その他の会議等では、認知症や精神疾患患者の事例検討、地域ケア会議会議結果のデータ分析に関する勉強会等があった。

1 専門職員等派遣事業の実績

●派遣先で求められた役割(件数・割合) n=149

高齢福祉圏域	市町村	地域ケア（個別）会 議への助言	研修会・勉強会 （講師）	通いの場への助言	アドバイザー （助言）	計
横浜	横浜市	1	6			7
川崎	川崎市					0
相模原	相模原市	6	4	1		11
横須賀 ・三浦	横須賀市		5			5
	鎌倉市		2	1		3
	逗子市		6	7		13
	三浦市	2				2
	葉山町	3				3
県央	厚木市		2	5		7
	大和市	1	5			6
	海老名市	8	3			11
	座間市	8	1			9
	綾瀬市			3		3
	愛川町					0
	清川村					0
湘南東部	藤沢市					0
	茅ヶ崎市	3	4	4		11
	寒川町	2	1			3
湘南西部	平塚市					0
	秦野市					0
	伊勢原市	2	4			6
	大磯町					0
	二宮町		1		1	1
県西	小田原市	29	1			30
	南足柄市					0
	中井町	3	2			5
	大井町	4				4
	松田町					0
	山北町					0
	開成町	6		1		7
	箱根町		1			1
	真鶴町					0
	湯河原町					0
		78	48	22	1	149
		52.3%	32.2%	14.8%	0.7%	100.0%

地域ケア（個別） 会議への助言	研修会・勉強会 （講師）	通いの場への助言	アドバイザー （助言）
78件（51%）	48件（32%）	22件（15%）	1件（1%）

【分析のポイント】

○派遣先で求められた役割は、地域ケア（個別）会議への助言が78件(51%)、次に研修会・勉強会の講師が48件(32%)、通いの場への助言が22件(15%)、アドバイザーが1件(1%)だった。

○通いの場への助言は22件(15%)であった。

○二宮町のアドバイザー（助言）1件(1%)は、作業療法士による、介護予防のための地域ケア個別会議の立ち上げ支援だった。

1 専門職員等派遣事業の実績

分析のまとめ

- ・ 5市（小田原市・逗子市・相模原市・海老名市・茅ヶ崎市）への派遣が全体の5割を占める。
- ・ 湘南西部（8件、5.4%）での活用実績が少ない。
- ・ 川崎市を除くと、計12自治体で派遣実績がなく、内8自治体は独自で専門職の確保が難しい小規模町村である。潜在的には専門職の関わりに対するニーズがあると推測される。
- ・ 理学療法士、作業療法士、管理栄養士、大学教授・講師等の派遣が多い。
- ・ 地域ケア個別会議（「自立支援型」と「支援困難等」を合わせて）が7割あった。
- ・ 「通いの場」への派遣は全体の15%にとどまっている。
- ・ 地域ケア個別会議への助言、研修会等の講師派遣も求められている。

2 専門職員派遣事業の目指す姿と現状

目指す姿（事業の目的）

- 地域包括ケアシステムの深化・推進につながる活動を支援する
- 通いの場等へのリハ専門職の関与を増やし、住民主体の活動を支援する
- 複数の市町村にまたがる広域的な活動を支援する(市町村の広域的な取組を支援する)

現状

- ① 地域の実情に精通した人材の活用ができていない
- ② 通いの場（住民が参加する場等）への派遣が少ない
- ③ 利用している市町村が固定化している

3 事業の方向性(案)

①地域の実情に精通した人材の活用ができていない

→神奈川リハビリテーション病院との連携強化

②通いの場（住民が参加する場等）への派遣が少ない

→フレイル対策（ポピュレーションアプローチ）の推進

③利用している市町村が固定化している

→採択の優先順位化(通いの場、一体的実施、住民参加、広域的活動等)

→プッシュ式（県主導型採択）

4 ご意見をいただきたいこと

- ①地域の人材を更に活用するため、地域の資源（医療・介護関係機関・団体、大学、企業等）と、どのように連携していけばよいか。
- ②通いの場への専門職の関与を増やし、市町村のフレイル対策を推進するために専門職派遣事業をどのように展開していけばよいか。
- ③市町村や地域で、今後、どのような専門職派遣事業のニーズが見込まれるか。

(参考) 専門職が、このような依頼にこたえます！

Q どのような専門職が来てくれますか？

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、介護支援専門員、精神保健福祉士、社会福祉士、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、権利擁護の相談支援者（弁護士等）、認知症関係（チームオレンジなど）の支援者、フレイルトレーナーなど健康づくりの専門家、学識経験者（大学教員等）等、

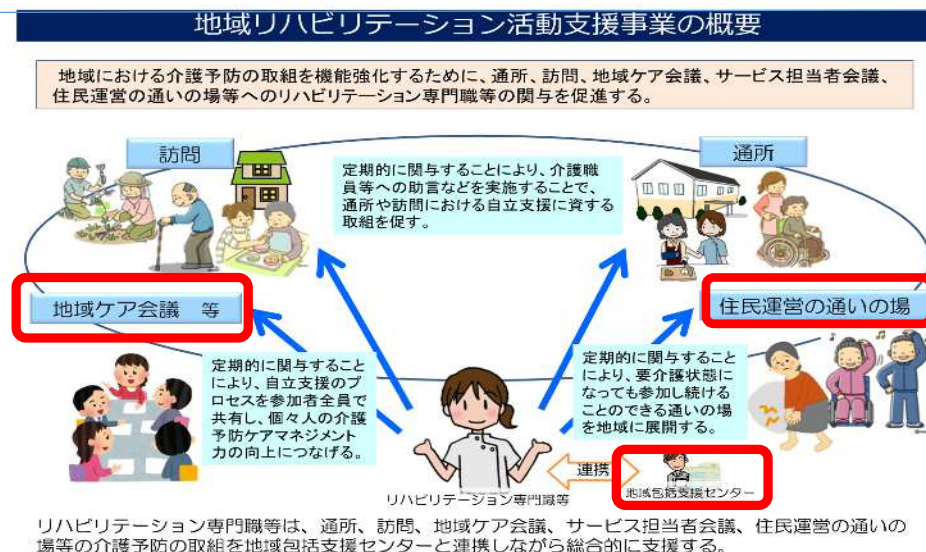
Q どのような支援が受けられますか？

- ・ 講義をして欲しい
- ・ 体操等の実技指導をして欲しい
- ・ 地域課題や個別事例等に対するアドバイスをして欲しい
- ・ 会議やグループワーク等のファシリテーターをして欲しい
- ・ 事例のアセスメントやプランに対するアドバイスが欲しい

Q 派遣時間はどれくらいですか？

1 回、2 時間程度です。複数回の派遣も可能です。（要相談）

Q どのような場に来てくれますか？（一例）



専門職（講師）が決まっていない場合は？

希望する専門職（講師）が決まっていなくても大丈夫です！
困っていること、解決したいこと、地域でやってみたいことに
合わせて、最適な専門職派遣をお手伝いします。

ありがとうございました